

企業名： あらた

レポート名： 統合報告書 2021

1. この会社が目指す姿が理解できるか

社長メッセージと副社長メッセージ内で「長期経営ビジョン 2030」とその達成へ向けた「中期経営計画 2023」に関する説明がなされている。社長メッセージ内 p 12 に長期経営ビジョン 2030 の全体像をつかみやすいような図が 1 ページ丸々使って掲載されており、「夢をかなえる。暮らしを変える。」というメッセージが強調されている。しかし p 12 以前から、中期経営計画 2023 の進捗状況から続ける形で分かりやすい目印がなく長期経営ビジョン 2030 の展望の記述が始まっていたり、社長メッセージ内と副社長メッセージ内のどちらにも違う角度から説明がされていたりして読み落としそうになる部分があつた。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

「営業」「E コマース」「海外」「商品」「物流」「システム」といったセクションごとに当社の強みがまとめられており、それぞれの競争優位性を理解できる。とくにメーカーと小売店をつなぐ卸として、物流やシステムの高度化にとどまることなく、商品開発や売り場の活性化にも大きな力を入れていることがわかる。さらに ESG(Environment Social Governance)の項目では持続的な成長に向けた取り組みが多くページを割いて紹介されており、企業価値向上に努めていることもわかる。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

営業部門や商品部門ではコロナ禍のニーズの沿った取り組みやその成功した具体的な事例がいくつか紹介されており、トレンドやニーズを店頭に早く反映できる力があることがわかる。また急拡大する E コマース市場にも積極的に参入し、当社独自の機能で応える取り組みもみとれることから、さらなる事業発展を期待できる。以上のことから当社の競争優位性に持続性が確認できると考えてよい。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

「人材」のセクションでは社員の個々の成長を重視した取り組みが紹介されている。とくに育成や教育に加えて SDG s に基づいた多様な働き方を実現する制度や人権尊重に取り組んでいることがまず初めに紹介されており、人的資本の価値向上に一役買っていることがわかる。ただ育成、研修の方針については名称の紹介にとどまりどんな内容なのかがわからないため、直接的な人的資本向上の要因についてははっきりしない。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

長期経営ビジョン 2030 は社長、副社長メッセージ内で解説するのではなく、別のセクションでひとまとまりに記述することで、今後の方向性をわかりやすく伝えることができる。また人材育成の研修制度が実際に社員にどのような影響をもたらし、企業業績にかかわっているのかといったデータがあれば、より当社の人的資本の価値向上を期待できるだろう。